

ダイハツ純正

ドライブレコーダー(連動モデル)
DRN-H72N (08671-K9021)

取扱書

保証書別添付

- この取扱書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全のために」(P.3～4)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受取りください。



ダイハツ工業株式会社

本書について

本書では、ドライブレコーダーをご使用になるうえでの
注意事項・主な機能の紹介等について説明しています。
機能の詳細や具体的な操作については、
接続したナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。

- 本書ではダイハツ純正ナビゲーション NMZN-W72Dと接続した場合を例に説明しています。画面や表示内容は、接続したナビゲーションなどによって異なります。詳しくは、接続したナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。

もくじ

安全上のご注意

安全のために	3
--------------	---

はじめに

使用上のお願い	4
SDメモリーカードについて	6
各部のなまえとはたらき	8
後方録画用HDカメラ(別売)について	10
室内カメラ(別売)について	11

使いかた

ドライブレコーダーの設定をする	12
録画する	15
ナビゲーションなどで動画・静止画を再生する	18

DR Video Viewer

パソコンアプリDR Video Viewerとは	19
--------------------------------	----

必要なとき

故障かな!?	20
商標などについて	24
仕様	25
アフターサービスについて	26

DAIHATSU ドライブレコーダー

このたびは **DAIHATSU** ドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

本書は紛失しないよう車の中に保管してください。なお、本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。



警告

記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。



注意

記載事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどのおそれがあること。

お知らせ

快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

お願い

安全にご使用いただく上で守っていただきたいことを記載しています。

安全のために



警告

- 本機はDC12V \ominus アース車専用です。

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因になります。

- 本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。

不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。

本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

- SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。

誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- 走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

操作は安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で行ってください。

- 通電中のドライブレコーダー本体に長時間直接接触して使用しないでください。

低温やけどの原因になることがあります。

注意

- **本機を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。**

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

- **車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。**

夏期は車内の温度が高くなる場合がありますので、車内の温度を下げたからお使いください。冬期は車内の温度が低くなる場合がありますので、車内の温度を上げてからお使いください。そのまま使用すると故障の原因になります。

- **故障や異常な状態のまま使用しないでください。**

異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

事故や火災、感電の原因になります。お客様による修理は、絶対におやめください。

- **内部に水や異物を入れないでください。**

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。

水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。

- **サンバイザーやルームミラーの調整時、車種によっては本機に干渉する場合があります。本機に無理な力がかかると、故障や落下などの不具合が発生するおそれがありますので、ご注意ください。**

お知らせ

お願い

- **結露について**

寒いときにヒーターをつけた直後など、カメラのレンズが結露してくる場合があります。このようなときはしばらくそのままの状態に放置しておけば結露が取り除かれます。

- * なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

使用上のお願い

事故発生などのものしものときは、録画データが上書きされる前に保存フォルダにデータを移すか、microSDメモリーカードを取り出してください。

取り出すときは、必ず車のエンジンを切り（ACC OFF）、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。

- **本機の操作は、接続したナビゲーションで行います。**

- **必ずドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入してご使用ください。**

※ 付属のmicroSDHCメモリーカード、または本機で使用できるmicroSDメモリーカードをご使用ください。（P.6）

※ microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。

- **車のエンジンをかけた直後（ACC ON）やエンジンを切った直後（ACC OFF）は、本機が動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。**

使用上のお願

- 推奨動作温度（-20℃～+65℃）の範囲外で使用すると、正常に動作しなかったり、録画を停止したりする場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- LED 式信号機などを録画すると、点滅して表示されたり、色を識別できなかったりする場合があります。このため、信号機の表示を常に正しく録画できることを保証するものではありません。映像で信号機の色を判別できない場合、周囲の状況などから判断してください。
- 録画された映像が、LED 式信号機などが点滅または消灯しているように見える状態となっても、当社は一切の責任を負いません
- ダッシュボード上に置いたものがフロントガラスに反射し、映像に映り込む場合があります
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- microSD メモリーカードを挿入した状態で、本機を譲渡又は処分するときは、プライバシー保護のため、保存された記録データをすべて削除してください。
- 駐車録画または監視録画をするように設定されている場合、本機は車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」および「監視録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 車種によっては、ドライブレコーダー本体がグローブボックス内にあるため、グローブボックスの開閉やグローブボックスに加えた衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音が鳴る場合があります。このとき録画データは、microSD メモリーカード内の GEVENT フォルダ (P.7) に保存されます。
お使いのナビゲーションのドライブレコーダー設定より、急加速・急減速の感度 (P.13) を 2 に設定すると衝撃を感知しなくなりますが、その場合、衝撃検知の感度が落ちるため、録画データが GEVENT フォルダに保存されない場合があります。
必要な録画データは上書きされる前に、保存フォルダに移動してください。操作方法については、お使いのナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。
- プライバシーシェード（フロント）を装着すると、室内カメラの視野を遮ってしまうため、監視録画で車室内の映像を録画できません。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の駐車録画機能または監視録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに microSD メモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

SDメモリーカードについて

使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード (Class10 以上・128 GB以下) *1*2
- microSDHCメモリーカード (Class10 以上・8 GB～32 GB以下) *1*3

*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

*2 容量が256 GB以上のmicroSDXCメモリーカードは使用できません。

*3 容量4 GB以下のmicroSDメモリーカードは使用できません。

本機に付属または**DAIHATSU**のmicroSDメモリーカードを使用することをおすすめします。

※本書では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

お願い

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。
- 本機でmicroSDメモリーカードを初期化する以外の方法で初期化(フォーマット)しないでください。
- 本機で使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。

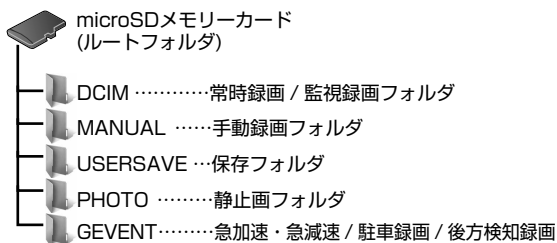
取り扱いについて

- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDメモリーカードを取り出さないでください。
- microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 市販のmicroSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
- microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクタ*1などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。ナビゲーションの起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または市販のmicroSDメモリーカードに交換することをおすすめします。

*1 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域

記録データが保存される階層について

本機で録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードに右記の階層で保存されます。



お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。

記録できるファイル数について

手動録画/保存データ/静止画/急加速・急減速/駐車録画/後方検知録画ファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が異なります。

常時録画ファイルは、これらのファイルを除いた空き領域に記録され、空き領域がなくなると古いファイルから順に自動削除されます。

他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が下記のとおり異なります。

ファイルの種類 \ 容量	8 GB	16 GB	32 GB (付属)	64 GB	128 GB
手動録画*1	15	30	60	120	240
保存データ*1	15	30	60	120	240
静止画*1	300	300	300	300	300
急加速・急減速/駐車録画/後方検知録画*2	15	30	60	120	240

*1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。

*2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから順に自動削除されます。

最大録画時間について

録画できる時間やファイルサイズは、画質の設定によって異なります。また、撮影状況によっても変化します。

■ 1チャンネル(フロントカメラ)/

2チャンネル(フロントカメラ + 後方撮影用HDカメラ/フロントカメラ + 室内カメラ)

画質	解像度*1*2	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*4
高画質	1 920 × 1 080	28 fps*3	約85 MB/1分	約360分
標準	1 280 × 720	14 fps	約48 MB/1分	約640分

■ 3チャンネル(フロントカメラ + 後方撮影用HDカメラ + 室内カメラ)

画質	解像度*1*2	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*4
高画質	1 920 × 1 080	28 fps*3	約115 MB/1分	約240分
標準	1 280 × 720	14 fps	約65 MB/1分	約350分

*1 手動撮影(静止画)の場合、設定した画質の解像度でJPEGとして記録されます。

*2 リヤビューカメラ・パノラミックビューモニターを後方用のカメラとして使用している場合は、後方の映像の解像度は高画質・標準ともに640 × 480です。

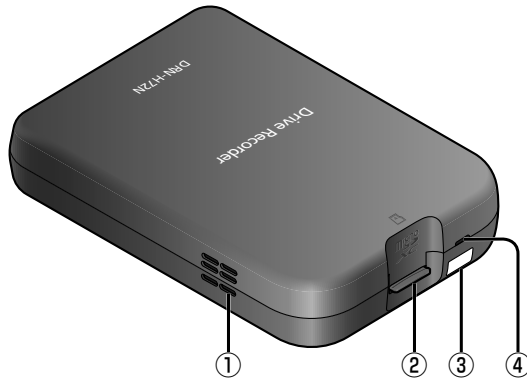
*3 駐車録画の場合は14 fps

*4 付属のmicroSDHCメモリーカード(32 GB)を使用した場合

各部のなまえとはたらき

ドライブレコーダー本体

電源ボタンはありません。車のエンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。



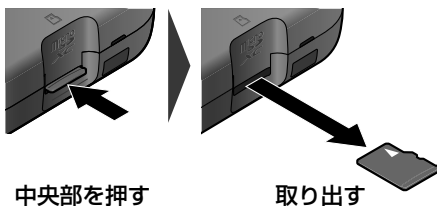
①	スピーカー	● 起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。
②	microSDXC メモリーカード 挿入口	● 映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。 ※ お買い上げ時は、付属のmicroSDHCメモリーカード(32 GB)が挿入されています。
③	LEDランプ	● 本機の状態がLEDで案内されます。 ・ 点灯(緑色)：録画中 ・ 点滅(緑色)：録画停止中 ・ 点灯(赤色)：microSDメモリーカードが未挿入または異常状態 ・ 点滅(赤色)：本機が異常状態 ・ 点灯(橙色)：センサー調整が未調整または異常
④	マイク	● 動画録画時に、音声を録音します。

● 付属のカードアダプターは、パソコンなどで使用するときに必要なに応じてご使用ください。

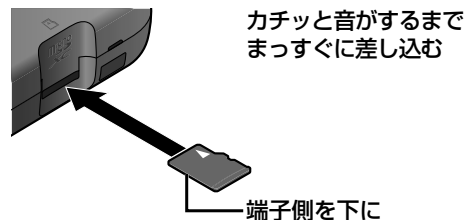
microSDメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

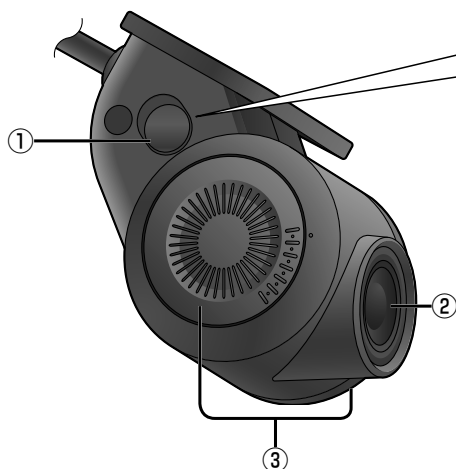
取り出しかた



挿入のしかた

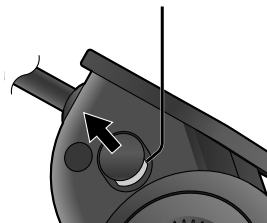


フロントカメラ



■ロックを解除するには ロックボタンを上げる

- 赤い色が見えるまで、
ロックボタンを上げる。



①	ロックボタン	●上下の角度を固定します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し(赤い色が見えるまでロックボタンを上げる)、調整を終えた後、必ず固定(赤い色が隠れるまでロックボタンを下げる)してください。
②	レンズ	●前方の動画録画・静止画撮影に用います。 少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	ダイヤル	●上下の角度を調整するときに操作します。 調整範囲: 0° ~ 60° (5°ステップ)

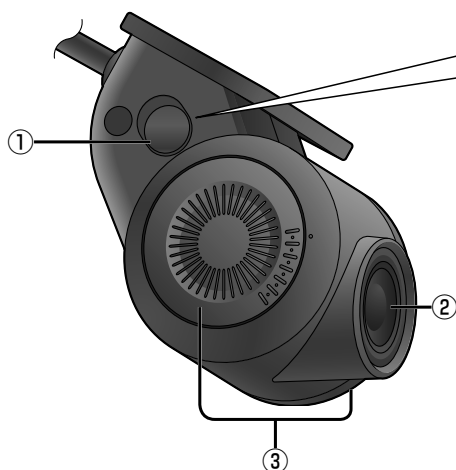
お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。

後方録画用HDカメラ(別売)について

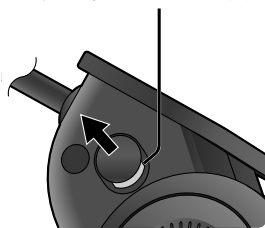
各部のなまえとはたらき

後方録画用HDカメラ(車両接近検知付)



■ロックを解除するには
ロックボタンを上げる

- 赤い色が見えるまで、
ロックボタンを上げる。



①	ロックボタン	<ul style="list-style-type: none"> ●上下の角度を固定します。 <p>※調整するときは、必ずロックを解除し(赤い色が見えるまでロックボタンを上げる)、調整を終えた後、必ず固定(赤い色が隠れるまでロックボタンを下げる)してください。</p>
②	レンズ	<ul style="list-style-type: none"> ●後方の動画録画・静止画撮影に用います。 ●少ない光量でも録画・撮影ができます。 ●動画・静止画は、左右が反転した鏡像で記録されます。
③	ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> ●上下の角度を調整するときには操作します。 <p>調整範囲: 0° ~ 60° (5°ステップ)</p>

お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。

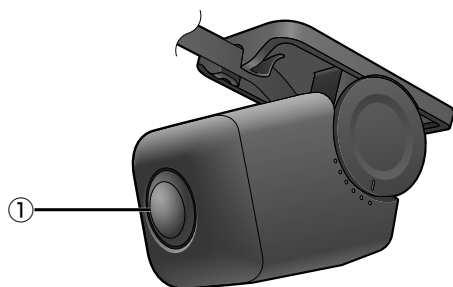
主な仕様

外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm x 65 mm x 46 mm
質量	約 72 g
推奨動作温度	-20 °C ~ +65 °C
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	高画質: 1 920 × 1 080 標準画質: 1 280 × 720
フレームレート	高画質: 28 fps (駐車録画の場合は14 fps) 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 121° 垂 直: 64°
消費電流	310 mA
消費電力	1.55 W

室内カメラ(別売)について

各部のなまえとはたらき

室内カメラ



① レンズ

- 車室内の動画録画・静止画撮影に用います。
少ない光量でも録画・撮影ができます。

お願い

- カメラのレンズを手で触らないでください。
- 上下の角度調整はできません。(お買い上げ時の調整済みです。)
無理に調整しないでください。破損するおそれがあります。

主な仕様

外形寸法(幅×高さ×奥行き)	28 mm x 47 mm x 43 mm
質量	約 47 g
推奨動作温度	-20℃~+65℃
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	高画質: 1 920 × 1 080 標準画質: 1 280 × 720
フレームレート	高画質: 28 fps(駐車録画の場合は 14 fps) 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 154° 垂 直: 86°
消費電流	150 mA
消費電力	0.75 W

はじめに

後方録画用エロカメラ(別売)について / 室内カメラ(別売)について

ドライブレコーダーの設定をする

NMZN-W72Dの例

※ナビゲーションなどによっては設定できない場合があります。

ドライブレコーダー接続設定

※通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。

「O N」:ドライブレコーダーを使用する

「O F F」:ドライブレコーダーを使用しない

お知らせ

- ナビゲーションなどの設定を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダー接続設定は「OFF」になります。本機を利用するには、「ON」に設定しなおしてください。

画質

「高画質」:高画質で記録する

「標準」:標準の画質で記録する

音声録音

「する」(O N):録画中、音声を録音する

「しない」(OFF):録画中、音声を録音しない

ダイレクトボタン設定

「ドライブレコーダー動画撮影」:地図画面に手動録画(動画)のタッチキーを表示する

「ドライブレコーダー静止画撮影」:地図画面に手動録画(静止画)のタッチキーを表示する

「ドライブレコーダーリアカメラ」:地図画面上にリアカメラのタッチキーを表示する

「表示しない」:地図画面に手動録画のタッチキーを表示しない

再生一覧表示

「古い順」:再生一覧を古い順に表示する

「新しい順」:再生一覧を新しい順に表示する

急加速・急減速(イベント情報表示)

急加速・急減速した場面で、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

駐車録画(イベント情報表示)

駐車録画した地点で、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

事故多発地点(イベント情報表示)

事故多発地点で、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

合流地点(イベント情報表示)

合流地点で、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

急カーブ(イベント情報表示)

急カーブで、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

監視録画(イベント情報表示)

監視録画した地点で、動画情報を表示「する」(ON)/「しない」(OFF)

[太字: お買い上げ時の設定]

後方検知(イベント情報表示)

後方検知録画した場面で、動画情報を表示「する」(ON) / 「しない」(OFF)

急加速・急減速の感度

— / + で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1(低感度) ~ 3~5(高感度)]

急加速・急減速の感知音

「する」(ON): 急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす
「しない」(OFF): 急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない

起動音

「する」(ON): 本機の電源が入ると、ブザーを鳴らす
「しない」(OFF): 本機の電源が入っても、ブザーを鳴らさない

駐車録画

「する」(ON): 駐車中に振動を検知すると、自動で録画する
「しない」(OFF): 駐車中、録画しない

駐車録画のお知らせ

「する」(ON): ACC ON後に駐車中に録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする
「しない」(OFF): メッセージ表示をしない

駐車録画の感度

— / + で、振動を検知する感度を調整する [調整範囲: 1(低感度) ~ 3~5(高感度)]

駐車録画の時間

駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10秒/30秒/1分]

駐車録画の無効時間

駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1分/3分/5分]

●ACC OFF後、駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。

監視録画

車のエンジンを切ったあと、一定の時間録画「する」(ON) / 「しない」(OFF)

監視録画の時間

監視録画する時間を設定する。 [調整範囲: 30分/60分/90分]

後方検知

後方から車両が接近したときに後方検知録画「する」(ON) / 「しない」(OFF)

後方検知速度

後方検知録画が動作する速度を設定する [調整範囲: 40 km/h/60 km/h/80 km/h]

●設定した速度以上の速度で走行すると、車両接近時に後方検知録画されます。

後方検知距離

- / + で、後方検知録画する車間距離を調整する [調整範囲：1(近い)～3～5(遠い)]

後方検知のお知らせ

後方検知録画したとき、ナビゲーションなどでお知らせ「**する**」(ON)/「**しない**」(OFF)

警告音量

本機の音量を設定する [調整範囲：1～3～5]

リヤカメラ録画

※通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。

「**しない**」：前方にのみカメラがある場合に選択する

「**する**」：前後にカメラがある場合に選択する

※ナビゲーションなどによっては、「する」に設定できない場合があります。

お知らせ

- ナビゲーションなどの設定を工場出荷状態に戻すと、リヤカメラ録画は「しない」(OFF)になります。前後にカメラがある場合は、「する」(ON)に設定しなおしてください。

車内カメラ録画

※通常は、この操作は必要ありません。販売店が行います。

「**する**」(ON)：室内カメラがある場合に選択する

「**しない**」(OFF)：室内カメラが無い場合に選択する

※ナビゲーションなどによっては、室内カメラ非対応の場合があります。

お知らせ

- ナビゲーションなどの設定を工場出荷状態に戻すと、車内カメラ録画は「しない」になります。室内カメラがある場合は、「する」(ON)に設定しなおしてください。

センサー調整する

調整する：本機の加速度センサーを最適化する

SDカードを初期化する

はい：本機で使用しているmicroSDメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする(メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。)

- microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDメモリーカードを交換したときなどに行ってください。
- 付属のmicroSDHCメモリーカードを初期化すると、収録されているパソコンアプリDR Video Viewerのインストーラーも削除されます。DR Video Viewerのインストーラーは、万々に備えてパソコンにバックアップを取っておくことをお勧めします。また、DR Video Viewerは、Webサイトからダウンロードすることもできます。(P.19)

設定を初期化する

はい：本機の設定をお買い上げ時の状態に戻す(録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)

録画する

常時録画(動画)

本機の電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

- 常時録画を開始すると、ドライブレコーダー本体のLEDランプが緑色に点灯します。
- 後方の映像は、鏡像です。

microSDメモリーカードの空き容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

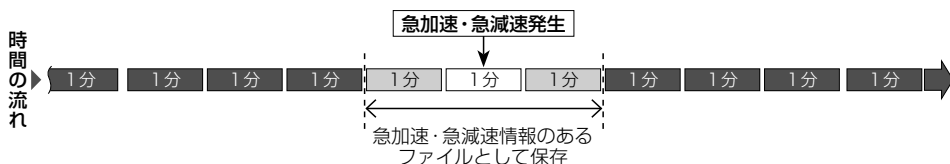
お知らせ

- ドライブレコーダーの設定や記録ファイルの再生を行っているときは、録画を停止します。車を発進させると設定や再生を終了し、常時録画を再開します。

常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速の検知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。(P. 7)

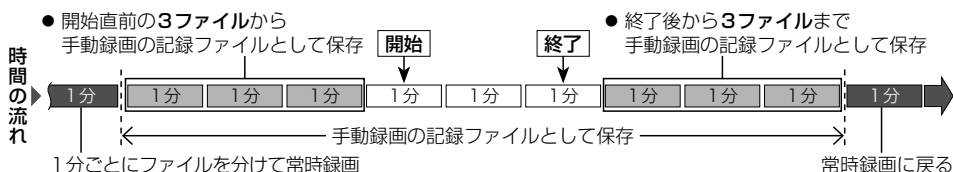


手動で動画を録画する

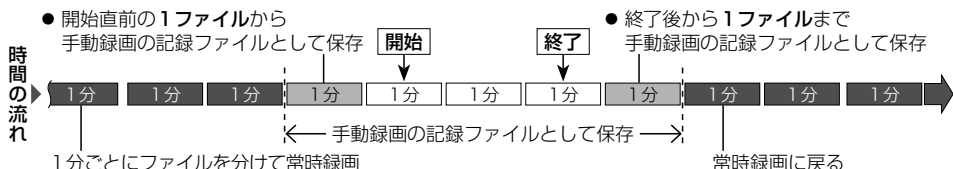
手動録画すると、手動録画の開始直前と終了後の常時録画のファイルが、手動録画の記録ファイルに置き換わります。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- 手動で静止画を撮影することもできます。

「リアカメラ録画」、「車内カメラ録画」のいずれか、または両方が「する」に設定されている場合



「リアカメラ録画」、「車内カメラ録画」が両方とも「しない」に設定されている場合



録画する

駐車録画(動画)

エンジンを切って駐車しているときに車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 駐車録画を「する」(ON)に設定してください。[お買い上げ時の設定：しない(OFF)]

お知らせ

- 「駐車録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」が短い場合、車のエンジンを切ってから降車、荷物の出し入れ、車種によってはグローブボックスの開閉などを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。
(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。)
- 後方録画用HDカメラ・室内カメラの映像も、駐車録画されます。
- バックモニター・パノラマモニターの映像は、駐車録画できません。

■ 駐車中に駐車録画があったときは

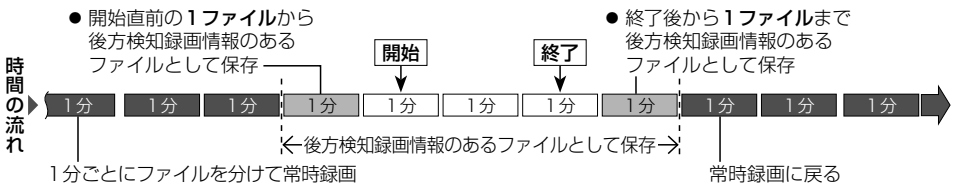
車のエンジンをかけたとき、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されます。
[駐車録画のお知らせを「する」(ON)に設定した場合]

後方検知録画(動画)

別売の後方録画用HDカメラを接続時のみ使用できます。

走行中の後続車の異常な接近を検知すると、前後に録画された記録ファイルが後方検知録画情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。(P.7)
- 後方検知録画を「する」(ON)に設定してください。[お買い上げ時の設定：しない(OFF)]



お知らせ

- 検知が頻発する場合は、「後方検知速度」を速めに、「後方検知距離」を近くに設定すると、検知の頻度を下げることができます。
- リヤカメラ録画が「しない」に設定されていると、検知できません。
- バックモニター・パノラマモニターは、後方検知録画には対応していません。
- 検知の対象は自動車のみです。人・自転車・オートバイなどは検知できません。
- 次のような場合には、動作しないまたは誤動作する場合があります。
 - ・ 悪天候や逆光により後方の視界が不明瞭なとき。
 - ・ レンズの汚れやガラスへ映り込みにより、後方の映像を鮮明に撮影できないとき。
 - ・ 舗装の劣化や雪や雨などの悪天候により、車線が正しく認識できないとき。
 - ・ センターラインの無い道路を走行しているとき。
 - ・ 後続車の色や周囲の光の加減により、後続車が認識できないとき。
 - ・ 急カーブを走行しているとき。
 - ・ 信号待ちのときや、渋滞の中を走行しているとき。

監視録画(動画)

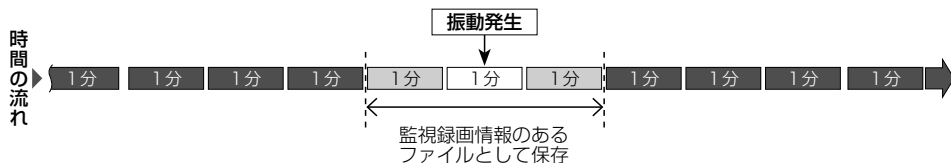
エンジンを切った後もしばらくのあいだ、録画を続けます。

- 監視録画を「する」(ON)に設定してください。[お買い上げ時の設定: しない(OFF)]
- 監視録画をする時間を設定できます。

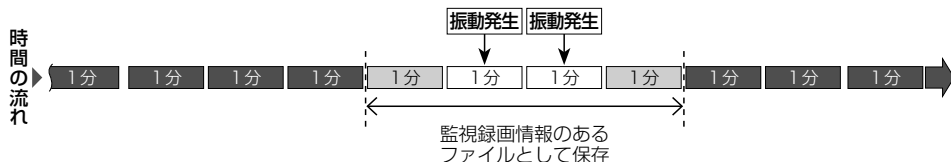
microSDメモリーカードの空き容量がなくなると、常時録画ファイルが古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。

監視録画中に振動を検知すると

監視録画中に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、監視録画情報のあるファイルとして記録されます。



● 振動を連続で検知した場合



お知らせ

- 「監視録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。
- また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「監視録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 後方録画用HDカメラ・室内カメラの映像も、監視録画されます。
- バックモニター・パノラマモニターの映像は、監視録画できません。

ナビゲーションなどで動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

操作についてはナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。
ナビゲーションなどによっては操作できない場合があります。

動画を再生する

本機で録画した動画をナビゲーションで再生できます。再生中は、下記の操作ができます。

- 頭出し
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- 前方/後方/車内の切換

静止画を再生する

本機で撮影した静止画をナビゲーションで再生できます。再生中は、下記の操作ができます。

- 次/前の静止画に切換
- 前方/後方/車内の切換

お知らせ

- DR Video Viewer (P.19) の動画再生画面から保存した静止画は、ナビゲーションでは再生できません。
- ドライブレコーダーの設定や記録ファイルの再生を行っているときは、録画を停止します。車を発進させると設定や再生を終了し、常時録画を再開します。

パソコンアプリDR Video Viewerとは

本機で録画した動画は、付属のパソコンアプリDR Video Viewerを使ってパソコンで再生できます。

DR Video Viewerのインストーラーは、付属のmicroSDHCメモリーカード(ドライブレコーダー本体に挿入済)に収録されています。

パソコンにDR Video Viewerをインストールしてお使いください。

- DR Video Viewerのインストーラーは、**万に備えてパソコンにバックアップをとっておくことをおすすめします。**DR Video Viewerフォルダと、その中に格納されているすべてのファイルおよびフォルダをバックアップしてください。
- 付属のmicroSDメモリーカードを初期化すると、収録されているDR Video Viewerのインストーラーも消去されます。

DR Video Viewerのインストーラーは、Webサイトからもダウンロードできます。

付属のmicroSDHCメモリーカードからインストーラーを削除した場合は、Webサイトからインストーラーをダウンロードしてください。

URL : <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/daihatsu.html>

- DR Video Viewerの機能やデザインは、バージョンアップによって変更される場合があります。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 8.1/10/11のいずれかを搭載していること
- 4 GB以上のメモリを搭載していること。
- 本機で動画の録画に使用したmicroSDメモリーカードを読み込めること
※必要に応じて、本機に付属のカードアダプターをご使用ください。

お願い

- microSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。
- Windowsが最新でないと、正しくインストールされない場合があります。そのときは、Windows UpdateによりWindowsを最新の状態に更新してください。

お知らせ

- 本機で撮影した静止画は、DR Video Viewerでは再生できません。
OS標準の静止画ビューアーなどを使用して再生してください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、まずは次の内容をご確認ください。
処置をしても改善されないときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

★…詳しい操作方法は、ナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。

内 容	
動 作	本機の電源が入らない(LEDランプが点灯しない) 車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。 ヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。
	本機やmicroSDメモリーカードが温くなる 長時間使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。
	走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る／ブザーが鳴り続ける(ピピピ…短く8回) 本機の加速度センサーが最適化されていない。 ★microSDメモリーカードをドライブレコーダー本体に挿入して加速度センサーを最適化してください。
	走行中、路面上の段差を越えた際に、ブザーが鳴る 路面の段差を越えたときなどの衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音(ブザー)を鳴らすことがあります。(故障ではありません) ★「急加速・急減速の感度」を低感度に調整すると、段差の衝撃を急加速・急減速として感知しなくなる場合があります。
	★感知音(ブザー)が頻繁に鳴るときは「急加速・急減速の感知音」を「しない」に設定すると、急加速・急減速を感知しても感知音(ブザー)を鳴らさなくなります。
	グローブボックスの開閉やグローブボックスに加えた衝撃で、ブザーが鳴る 車種によっては、ドライブレコーダー本体がグローブボックス内にあるため、グローブボックスの開閉やグローブボックスに加えた衝撃を急加速・急減速として感知し、感知音が鳴る場合があります。このとき録画データは、GEVENTフォルダに保存されます。お使いのナビゲーションのドライブレコーダー設定より、急加速・急減速の感度(P.13)を2に設定すると衝撃を感知しなくなりますが、その場合、衝撃検知の感度が落ちる為、GEVENTフォルダに録画データが保存されない場合があります。必要な録画データは保存フォルダに移動してください。操作方法については、お使いのナビゲーションなどの取扱書をご覧ください。
	ドライブレコーダー本体の加速度センサーが最適化されない ドライブレコーダー本体からmicroSDメモリーカードが抜かれた状態で加速度センサーを最適化しようとした。 ★microSDメモリーカードが抜かれた状態では最適化できません。 水平で平坦な場所に停車し、ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入して加速度センサーを最適化してください。
	記録ファイルが消えている 常時録画の場合、古い記録ファイルから順に自動的に削除されるため、連続して記録されない場合があります。 ★残したい記録ファイルは、保存フォルダへ移動してください。

内 容

録画できない、または録画した映像が正しく表示されない

ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードが挿入されていない。

- ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードを挿入してください。

記録できるファイル数の上限に達している。(録画できない場合)

- ★ 手動録画の記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)

microSDメモリーカードを初期化していない、または本機以外(パソコンなど)で初期化した。

- ★ 本機で初期化してください。

microSDメモリーカードを長期間使用している。

- microSDメモリーカードには寿命があります。
microSDメモリーカードを本機で初期化(P.14)するか、それでも解決しない場合は、別売のmicroSDメモリーカードに交換してください。

録画や再生、初期化中にmicroSDメモリーカードを取り出した。

- microSDメモリーカードが損傷している場合があります。
新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。

後方のカメラ映像が録画できない

リヤカメラ録画が「しない」に設定されている。

- ★ ナビゲーションなどを工場出荷状態に戻すと、リヤカメラ録画が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。

後方検知録画が動作しない

リヤカメラ録画が「しない」に設定されている。

- ★ ナビゲーションなどを工場出荷状態に戻すと、リヤカメラ録画が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。

車内のカメラ映像が録画できない

リヤカメラ録画が「しない」に設定されている。

- ★ ナビゲーションなどを工場出荷状態に戻すと、車内カメラ録画が「しない」(OFF)になります。「する」(ON)に設定しなおしてください。

車のエンジンをかけたときに(ACC ON)、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていなかった

振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。

- 車両の周囲をご確認ください。

振動の原因が、すぐに車から離れた。

- 振動を検知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。

バックモニター・パノラマモニターでは、駐車録画できません。

映像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る

太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。

- 映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。故障ではありません。

映像が見えにくい

暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。

- 故障ではありません。

カメラのレンズ、車のガラスが汚れている。

- 汚れを拭いてください。

カメラのレンズ、車のガラスが結露している。

- ヒーターなどで車内を適温に保ち、結露が取り除かれるまでしばらくお待ちください。

カメラが搭載している広角レンズの特性により、映像にはゆがみが生じます。

- 故障ではありません。

動作

映像

必要なとき

故障かな!?

故障かな!?

こんなメッセージが出たときは

内 容

- ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。
- SDカードがありません。

ドライブレコーダー本体にmicroSDメモリーカードが正しく挿入されていない、または未挿入です。
● microSDメモリーカードが正しく挿入されていることを確認してください。

- ドライブレコーダーの録画ができません。ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。
- ドライブレコーダーのSDカードにエラーが発生しました。
/ドライブレコーダーのSDカードの初期化が必要です。
- SDカードに異常が発生した為、認識できません。再度フォーマットするかカードを交換して下さい
- ディスクエラー

microSDメモリーカードを確認してください。
付属または使用可能なmicroSDメモリーカードを使用してください。

- ドライブレコーダーとの接続を確認してください。
- ドライブレコーダーに異常があります。販売店にお問い合わせください。
- ドライブレコーダーのSDカードが認識できません。SDカードを確認してください。

車のエンジンを切り、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。

- エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ドライブレコーダーが高温のため動作できません。温度が下がると動作を再開します。
- ドライブレコーダーが高温になったため、録画を中止しました。
温度が下がるまでしばらくお待ちください。
- 高温の為、録画できません

ドライブレコーダーの内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
● 問題が解消されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ドライブレコーダーで記録可能な領域が少ないためこれ以上、手動での録画ができません。
ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し手動録画や保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。
- ドライブレコーダーの手動録画のファイル数が上限に達したため、手動録画ができません。
- ドライブレコーダーで記録可能な領域が不足している為これ以上、常時録画ができません
ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し不要な映像やファイルを削除したり大切な映像はパソコンに移動してください
- ドライブレコーダーのSDカードの容量が少ないためこれ以上録画できません。

microSDメモリーカードの空き容量が少ないため、録画できない。

- 手動録画した映像ファイルを削除してください。
削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
- ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています。
大切な映像をパソコンに移動したあと、SDカードの初期化をしてください。
- ドライブレコーダーのSDカードをフォーマットすることを推奨します。
- ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします

microSDカードのデータをパソコンなどに移動してから、本機でmicroSDカードを初期化してください。

- ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします
(microSDカードを初期化しても、再度メッセージが表示された場合)
- ドライブレコーダーのSDカードの交換推奨時期です。
- SDカードに異常が発生した為、認識できません。再度フォーマットするかカードを交換して下さい
- ドライブレコーダーのSDカードの寿命が近づいたため、交換をおすすめします。

microSDカードには寿命があります。
● 新しいmicroSDカードに交換してください。

内 容

- ドライブレコーダーの取付調整が未実施です。正しく取り付けした後、ドライブレコーダーの設定から「調整する」を押して、取付調整を実施してください。
- 調整できませんでした。 平らな場所に停車しエンジンOFF、ACCのみONにしてやり直してください。
- 取付調整失敗

再度、取付調整の実施が必要です。

- 本体を正しく取り付けした後、水平で平坦な場所に停車している状態で取付調整を実施してください。

● 初期化失敗

再度、microSDカード初期化の実施が必要です。

- 本機でmicroSDカードの初期化してください。

- 保存フォルダへ移動できませんでした。
- 保存フォルダのファイル数が上限に達したため、移動できません。
- 保存可能な最大ファイル数を超えたため、これ以上保存できません。

記録できるファイル数の上限に達した。

- 保存フォルダ内の映像ファイルを削除してください。
削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。

- リスト情報を取得できませんでした。
- 映像の一覧を取得できませんでした。
- ドライブレコーダーの録画データを取得できませんでした。

本機がmicroSDメモリーカードのデータを読み込めなかった。

- 再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機でmicroSDカードを初期化してください。

- 映像を削除できませんでした。
- SDカードアクセスエラーのため削除できませんでした。 SDカードを確認してください。
- ドライブレコーダーの録画データを削除できませんでした。

microSDメモリーカードのデータを削除できなかった。

- 再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機でmicroSDカードを初期化してください。

- ファイルが再生できません。
- ドライブレコーダーの録画データを再生できませんでした。

本機では再生できないファイルを再生しようとした。

- 再生可能な次のファイルへスキップします。

- ドライブレコーダーが動作できません。
- ドライブレコーダーにエラーが発生しました。正常に動作していない可能性があります。

車のエンジンを切り、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。

- エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

商標などについて

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をAVC規格に準拠して(AVCビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

仕 様

電源	
電源電圧	DC12 V マイナスアース
消費電流	400 mA
消費電力	4.8 W
ドライブレコーダー本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	70 mm × 22 mm × 100 mm
質量	約141 g
推奨動作温度	-20℃～+65℃
記録メディア	microSDHCメモリーカード(Class10以上の8 GB～32 GB) microSDXCメモリーカード(Class10以上の64 GB～128 GB)
記録形式	映 像: H.264 音 声: PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動 画: MP4 静 止 画: JPEG
フロントカメラ	
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	36 mm × 63 mm × 42 mm
質量	約63 g
推奨動作温度	-20℃～+65℃
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
最低被写体照度	0.1 lx
解像度(動画・静止画)	高 画 質: 1 920 × 1 080 標準画質: 1 280 × 720
フレームレート	高 画 質: 28 fps(駐車録画の場合は14 fps) 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 117° 垂 直: 63°

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

アフターサービスについて

1. 保証書(別に添付しています。)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ販売店から受取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
万一、故障が発生したときは、保証書の内容に従って、お買い上げの販売店で修理させていただきます。おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

2. 補修性能部品の最低保有期間

このドライブレコーダーの補修性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。
アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

